

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	143,762 円		助成金充当額	143,762 円
事業対象者	全校区民		参加人数	300人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) x ・防災用機器が入っている万創倉庫の改善 ・避難所設備の充実			
事業目標	・小学校と校区住民と消防団と合同で避難訓練を実施する ・小学校・校区合同運動会において防災の競技を行い合わせて広報活動を実施する ・災害時に必要な物がすぐ取り出せるようにする			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	参加住民	のべ250人	30人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 防災訓練はコロナで中止となった。 万倉小・校区合同大運動会はコロナで規模縮小になり、防災の競技は中止となった。 万創倉庫に棚を設置した。 避難時に使用するため和室にテレビを設置した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 万創倉庫の荷物を出した後、棚を設置して再度整理整頓したので物品が取り出しやすい環境になった。 テレビについては9月の台風10号で自主避難してこられた方に使って頂いた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 避難体制づくりを行う。 倉庫の荷物(机、椅子)が増えてるので、再度整理を行う必要がある。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

健康福祉部会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	133,784円	助成金充当額	0円	
事業対象者	全校区民	参加人数	1,000人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 健康講座・健康体操 ・毎週水曜日朝のラジオ体操			
事業目標	全校区民対象の健康づくり 校区内の健康づくりの課題として、「集まる場所の提供」、「計る」、「情報の提供」を実施し、健			
	数値目標	令和2年目標	124334	
	健康講座・健康体操への参加人数	800人	400人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・毎週水曜日朝のラジオ体操は実施できた ・認知症サポーター要請講座開催、認知症相談窓口シールを作成し、全戸配布した ・万倉小フェスタと健康講座がコロナで実施できなかった。 (事業の実施により、どのような効果が得られたか)			
今後の課題等	高齢者の参加を増やすため、交通手段の確保が必要。デマンドバスの利用も視野に入れながら検討していく 若年層 (働き世代)への健康への意識づけも模索中			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

学校運営協議会

事業名	3	小中学校・地域連携事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	101,631円	助成金充当額	48,000円	
事業対象者	児童・生徒・全校区民	参加人数	350人	
事業内容	・小中学校の学校運営委員会の支援 ・万倉小学校の支援(小学校側のニーズと地区住民のマッチング助成)			
事業目標	少子化で児童数の減少により、学校単独での運動会開催の困難及び地域民と学校の垣根を解消し、児童と地域民の交流を図る			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 「地域に開かれた学校」運営を目指している中で、今年はコロナで規模を縮小し地域の方の競技参加は出来なかったが、運動会を協働開催することで、学校と地域の連携は図れた。			
事業効果	学校を地域に開放することにより、子どもたち・地域が元気になる 学校・地域の交流により、児童の顔も分かり、児童の「見守り活動」の一助もなしている			
今後の課題等	なるべく多くの校区民の参加を促すためにも、高齢化・独居化が進む中、交通手段・誘いかけなど工夫が必要 小学校との連携は出来ているが、中学校とは充分でない。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

楠地区社会福祉協議会

事業名	4	敬老行事		
事業期間	令和2年9月			
決算額	1,044,268円	助成金充当額	228,000円	
事業対象者	楠地区内71歳以上の高齢者	参加人数	0人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 船木、万倉、吉部3校区合同で楠地区社会福祉協議会主催の敬老会開催			
事業目標	数値目標	令和2年目標	124334	
	(達成できた、又は、できなかった要因)			
	今年はコロナで集まっていた敬老会は中止となり、百歳・米寿写真、対象者記念品を配るのみであった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地区住民の美化意識向上が図れた。 ・センター内の倉庫を整理したことで、必要な物がすぐに取り出せるようになった。 ・コロナ対策で会議室のパーティションと玄関ホールに自動検温消毒一体機を設置し、地域の方に安心して利用して頂けるようになった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 楠地区の活性化のためにも継続すべきであり、事業継続のためにも、助成金のさらなる活用が必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

万倉校区コミュニティ
推進協議会

事業名	5	万倉校区活性化事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	1,179,289円	助成金充当額	70,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・県指定の民族無形文化財「岩戸神楽舞」の復興支援 ・完成したかるたの普及活動をする ・ふれあいセンターと小学校へ門松を製作する			
事業目標	・伝統文化を地区挙げて継承できるような体制づくり ・かるたを小中学校等へ配布し、地区の特色を理解してもらう			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・岩戸神楽舞は12/5に復活披露を行い、30円で入場制限をしたが、ネット配信を行い、約800人の方に見て頂いた。 ・かるたは万倉小学校、万倉学童、楠中学校、宇部図書館、学びの森くすのき、万倉郵便局に配布し、普及活動を行った。 ・門松は予定通り作成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域の特色を理解してもらい、継続的に地域に住んでもらえる地域にする。 ・岩戸神楽舞を通して、グッズ等の販売を開始し、地域の活性化が図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 岩戸神楽舞は今後継承していくことに注力する。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

万倉校区コミュニティ
推進協議会

事業名	6	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	169,645 円	助成金充当額	169,645 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	30人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・つつじまつり(中止) ・ふれあい運動に関する講演会の開催 ・史跡巡りの開催 ・球技大会の開催			
事業目標	つつじ祭りでは地区内外の大人子どもの交流を図るとともに、万倉の地域や文化を知ってもらおう。ふれあい運動、史跡探訪で、コミュニケーションを図る。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	のべ参加者	3000名(以上の参加校区外含めて)	30人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナでつつじまつり、史跡探訪、球技大会は中止となった。 ふれあい運動の講習会は予定通り実施した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ふれあい運動の講習会は発達障害についての講演で、参加者は多様な特性を持つ子どもの理解と関わり方について充分理解頂いた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 参加者の年齢構成が広がるよう、イベントの実行委員会や役員の年齢構成を幅広くなるよう地域へ声を掛けていきたい。 球技大会の種目について皆さんが参加できる種目を検討する。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

万倉地区コミュニティ
推進協議会

事業名	7	広報事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	9,653 円	助成金充当額	9,653 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	全地区民	
事業内容	・ 広報「なすの花」の発行			
事業目標	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	年6回(奇数月の1日)全戸配布	年6回全戸配布	年6回全戸配布	
	広報発行前月に2回委員が集まり、行事等の情報を収集し編集を行い目標通り発行できた。			
事業効果	住民に地区の行事の広報と参加促進が図れた。			
今後の課題等	地区の行事やお知らせ等の情報を、多方面から収集できる方法を考えていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 万倉校区子ども委員会

事業名	8	三世代交流事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	62,690円	助成金充当額	26,925円	
事業対象者	全地区民	参加人数	118人	
事業内容	・万倉のつどい開催 ・どんど焼きの開催			
事業目標	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	地区住民100名以上の参加	100名以上	118名	
	コロナ禍、万倉のつどいは2部に分けて開催して66名、どんど焼きは52名の参加をいただいた。			
事業効果	万倉小学校の児童と地域住民が協同で栽培収穫したワラを使用し、三世代が協力し正月の輪飾りを作成した。餅つきは中止としたが、世代間交流が図れた。			
今後の課題等	参加者を増やす努力をする。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	9	環境整備事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	542,365 円		助成金充当額	251,115 円
事業対象者	全地区民		参加人数	380人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 地区内空き缶等回収、有帆川清掃、若者センターつつじの手入を行い、地域の環境整備を行い、住みやすい地域を目指す。			
事業目標	・御伊勢山の登山道の整備 ・ほのほの花壇の整備 ・若者センターのつつじの手入れ			
	数値目標	令和2年目標	124334	
	参加人数	のべ100人	380人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・予定したものは計画通り実施した。 ・危険回避のため、センター西側のウッドデッキを撤去して頂いたが、この跡地に倉庫を設置し、センター内の倉庫を整理した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地区住民の美化意識向上が図れた。 ・センター内の倉庫を整理したことで、必要な物がすぐに取り出せるようになった。 ・コロナ対策で会議室のパーティションと玄関ホールに自動検温消毒一体機を設置し、地域の方に安心して利用して頂けるようになった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・美化作業の参加者をもっと増やす策を検討する。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3